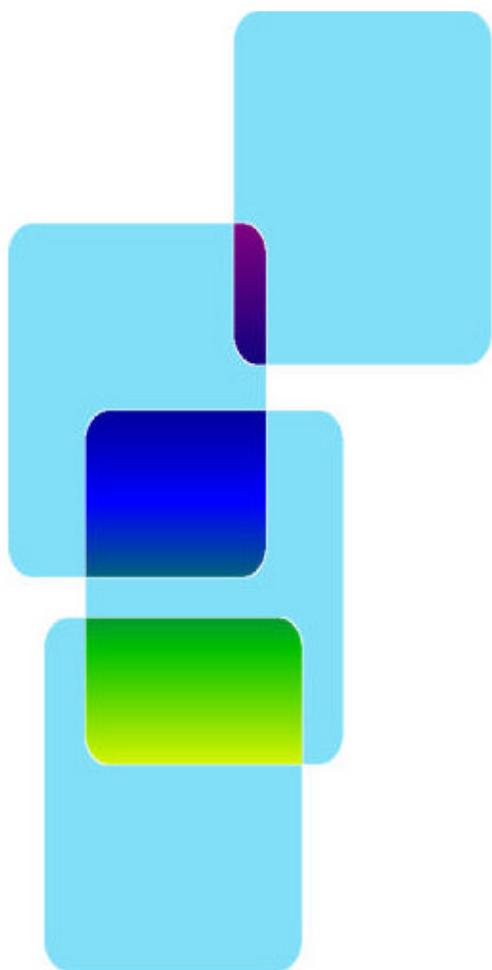


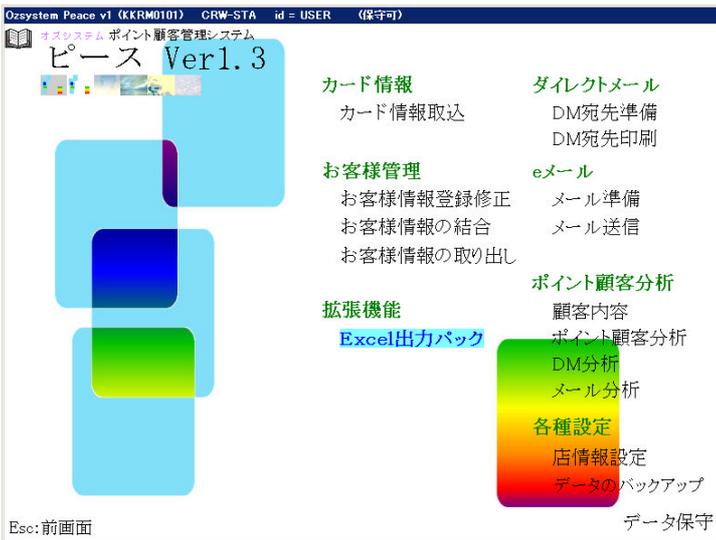
ピースV1

Excel 出力パック 第1版

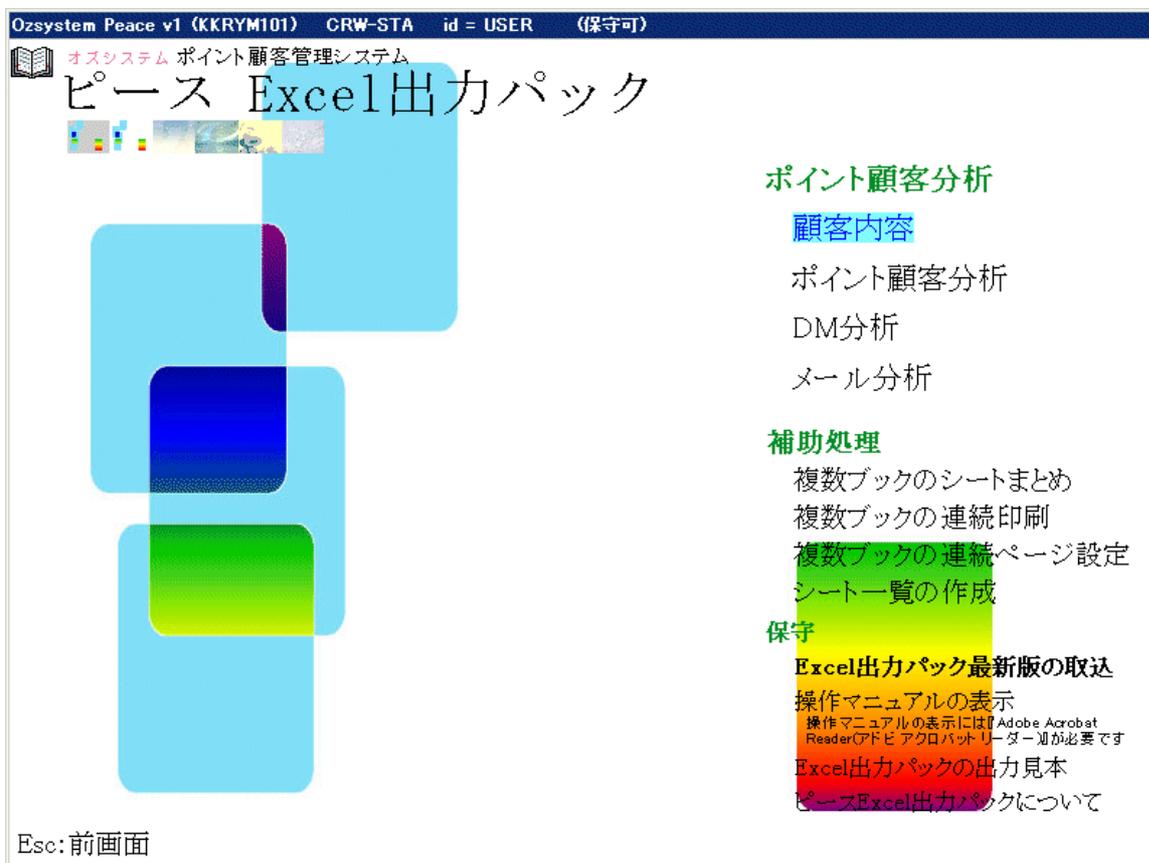


有限会社 オズシステム

目次



起動は
ピースV1本体のメニューから
Excel出力パック
をクリックします。

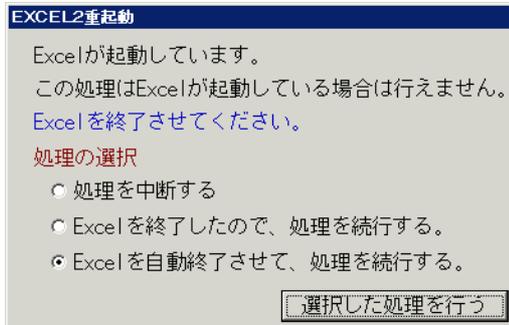


使用前の注意	1
顧客内容Excel変換	2
ポイント顧客分析Excel変換	3
DM分析Excel変換	4
DM分析Excel変換	5
メール分析Excel変換	6
メール分析Excel変換	7
補助処理	8
出力するExcelブック名	9
保守	10

使用前の注意

本処理は、Excelブック自体を生成します。
このため、本処理は他でExcelブックを開いていると処理できません。
必ず他でExcelブックを開いていない状態でお使いください。

他でExcelブックを開いた状態の場合、下記画面が表示されますので
画面の指示に従ってください。



通常は [Excelを自動終了させて、処理を続行する] を選択します。
Excelの自動終了がうまく行かない場合は
開いているExcelブックを閉じた後で
[Excelを終了したので、処理を続行する] を選択してください。

ご注意：Excel 2000以降のバージョンのExcelに対応しています。
Excel98では動作しません。

顧客内容 Excel 変換

ポイント顧客一覧、ポイント顧客購入履歴、ポイント顧客内容（台帳）、ポイント顧客DM履歴、ポイント顧客メール履歴を Excel ブックとして作成します。

The image shows two screenshots from the 'Ozsystem Peace v1' software. The left screenshot shows the 'Excel出力パック' menu with a red arrow pointing to the 'ポイント顧客内容(台帳)' option. The right screenshot shows the 'Excel出力パック(ポイント顧客内容)' dialog box with the same option selected. A red arrow points to the 'F12:Excel出力' button at the bottom right of the dialog box.

指定
該当帳票

ボタン
ESC:メニューへ
F12:Excel 出力

抽出条件はピースのマニュアルを参照
出力する Excel ブック名は最終ページを参照

該当帳票を選んで **F12:Excel 出力** を押します。

各帳票の見本は、別紙「ピースV1 Excel 出力パック 出力見本」を参照してください。

- ①ポイント顧客内容（台帳）を指定した場合、出力する Excel ブック名部分の、下記部分の指定が有効となります。

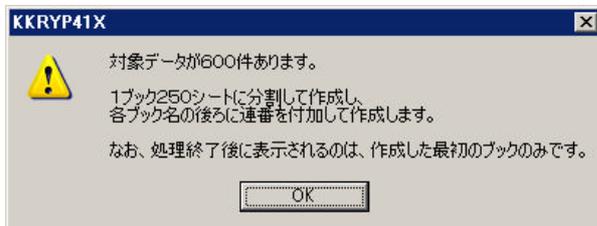
各シートに「抽出条件へ」というハイパーリンクを設定する。

をチェックすると、各シート（会員番号単位）の2行B列に [抽出条件へ](#) というハイパーリンクが設定されます。このハイパーリンクをクリックすると、抽出条件というシート（抽出条件と館員番号一覧のあるシート）にジャンプします。

- ②ポイント顧客内容（台帳）を指定した場合、

1ブックのシート数 が有効となります、

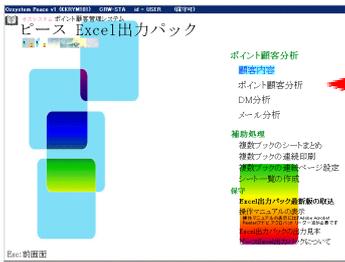
1 会員番号 1 シートで作成されるポイント顧客内容（台帳）のブックは、ここで指定した1ブックのシート数（最大999）を超えるデータがある場合、ブックを分割して作成します。（指定した出力するブック名の後ろに連番が付きまます。）この場合、下記のような画面が出力されますので、OK を押してください。



- 例) 会員が600あり、1ブックのシート数に250を指定した場合
- | | |
|--------------|------------------------|
| TEST-001.XLS | 1～250番目の会員のシートを含むブック |
| TEST-002.XLS | 251～500番目の会員のシートを含むブック |
| TEST-003.XLS | 501～600番目の会員のシートを含むブック |

ポイント顧客分析 Excel 変換

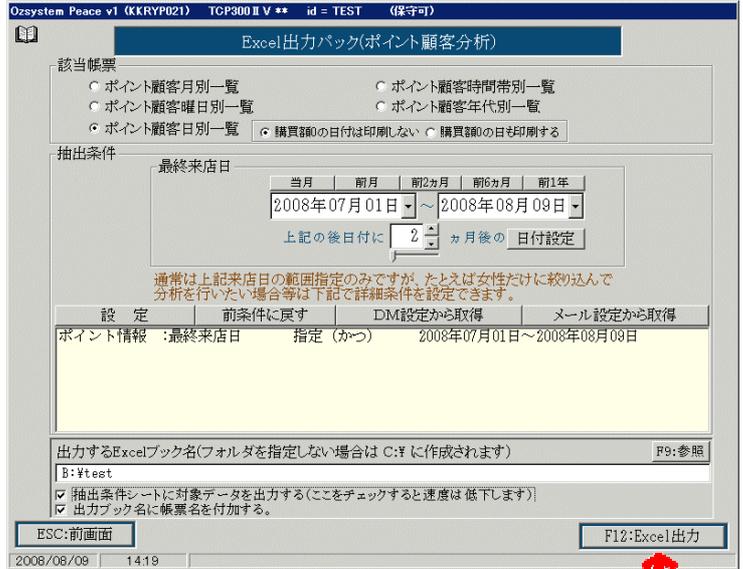
ポイント顧客月別一覧、ポイント顧客曜日別一覧、ポイント顧客日別一覧、ポイント顧客時間帯別一覧、ポイント年代別一覧を印刷します。



指定
該当帳票
最終来店日

ボタン
ESC:メニューへ
F12:Excel 出力

抽出条件はピースのマニュアルを参照
出力する Excel ブック名は最終ページを参照



該当帳票、最終来店日を選んで **F12:Excel 出力** を押します。
各帳票の見本は、別紙「ピースV1 Excel 出力パック 出力見本」を参照してください。

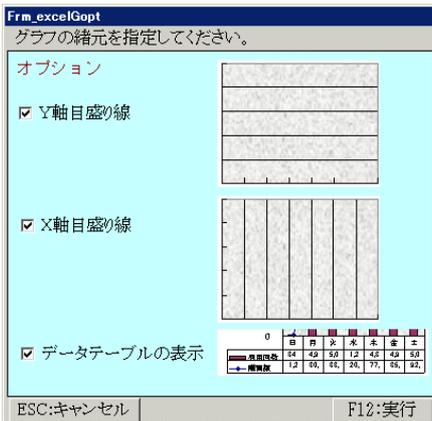
① 出力する Excel ブック名部分の、

抽出条件シートに対象データを出力する(ここをチェックすると速度は低下します)

ここをチェックすると、作成されるブック中の抽出条件シートに、分析に使用した生データが出力されます。ただし、処理速度が低下しますのでご注意ください。

② グラフ諸元の設定

ポイント顧客分析では、グラフも出力されます。**F12:Excel 出力** を押すと下記画面が表示され
グラフの諸元を設定することができます。

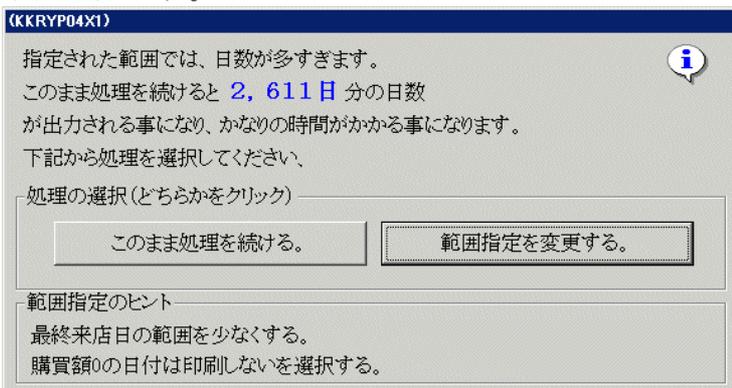


ここにチェックをいれると、Y軸目盛り線を表示します。

ここにチェックをいれると、X軸目盛り線を表示します。

ここにチェックをいれると、グラフの下部に値が表示されます。

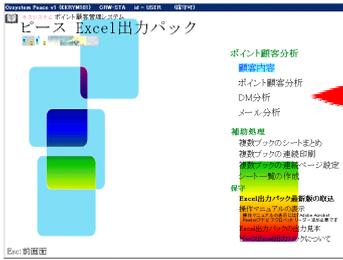
③ ポイント顧客曜日別一覧を指定した場合に有効な日付が60日以上の場合、下記画面が表示されます。



これは、グラフの線が多すぎるためです。
画面の指示に従って、
処理を選択してください。

DM分析 Excel 変換

DM番号内容、DM発送履歴、DM有効率、DM発送前後來店者数推移を印刷します。



指定
該当帳票
DM番号の範囲

ボタン
ESC:メニューへ
F12:Excel出力

抽出条件はピースのマニュアルを参照
出力する Excel ブック名は最終ページを参照



該当帳票（必要なら期間設定）、DM番号の範囲を選んで **F12:Excel出力** を押します。
各帳票の見本は、別紙「ピースV1 Excel出力パック 出力見本」を参照してください。

- ① DM番号内容（台帳）を指定した場合、
出力する Excel ブック名部分の、下記部分の指定が有効となります。

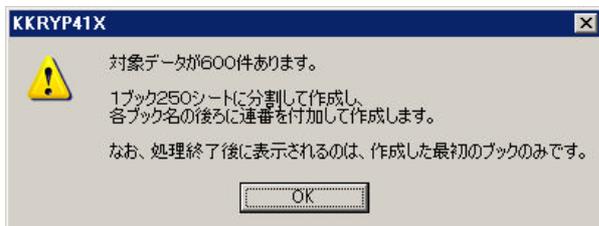
各シートに「抽出条件へ」というハイパーリンクを設定する。

をチェックすると、
各シート（DM番号単位）の2行B列に [抽出条件へ](#) というハイパーリンクが設定されます。
このハイパーリンクをクリックすると、抽出条件というシート（抽出条件と館員番号一覧のあるシート）にジャンプします。

- ② DM番号内容（台帳）を指定した場合、

1ブックのシート数 が有効となります、

1 DM番号1シートで作成されるDM番号内容（台帳）のブックは、
ここで指定した1ブックのシート数（最大999）を超えるデータがある場合、
ブックを分割して作成します。（指定した出力するブック名の後ろに連番が付きまます。）
この場合、下記のような画面が出力されますので、OK を押してください。



- 例) DM番号が600あり、1ブックのシート数に250を指定した場合
- | | |
|--------------|-----------------------------|
| TEST-001.XLS | 1 ~ 250 番目のDM番号のシートを含むブック |
| TEST-002.XLS | 251 ~ 500 番目のDM番号のシートを含むブック |
| TEST-003.XLS | 501 ~ 600 番目のDM番号のシートを含むブック |

DM分析 Excel 変換

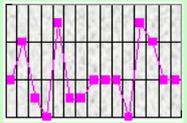
③ グラフ諸元の設定

DM 発送前後來店者数推移では、グラフも出力されます。**F12:Excel 出力** を押すと下記画面が表示されグラフの諸元を設定することができます。

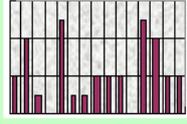
Frm_excelGopt
グラフの諸元を指定してください。

グラフの種類

折れ線

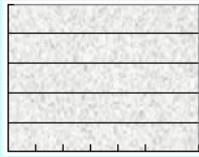


縦棒

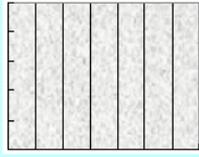


オプション

Y軸目盛り線



X軸目盛り線



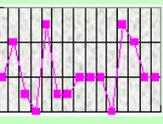
データテーブルの表示

0	日	月	火	水	木	金	土
来店者数	34	49	58	12	48	49	58
帰客数	12	30	35	20	77	35	32

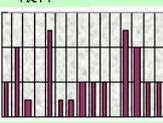
ESC:キャンセル F12:実行

グラフの種類

折れ線



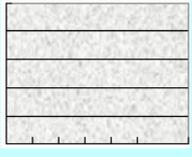
縦棒



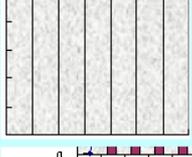
この部分でグラフを折れ線/縦棒のどちらかを指定します。

オプション

Y軸目盛り線



X軸目盛り線



データテーブルの表示

0	日	月	火	水	木	金	土
来店者数	34	49	58	12	48	49	58
帰客数	12	30	35	20	77	35	32

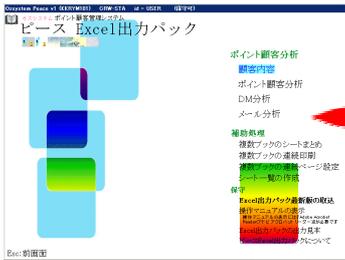
ここにチェックをいれると、Y軸目盛り線を表示します。

ここにチェックをいれると、X軸目盛り線を表示します。

ここにチェックをいれると、
グラフの下部に値が表示されます。

メール分析 Excel 変換

メール番号内容、メール発送履歴、メール有効率、メール発送前後來店者数推移を印刷します。



指定
該当帳票
メール番号の範囲

ボタン
ESC:メニューへ
F12:Excel出力

抽出条件はピースのマニュアルを参照
出力する Excel ブック名は最終ページを参照



該当帳票（必要なら期間設定）、メール番号の範囲を選んで **F12:Excel 出力** を押します。
各帳票の見本は、別紙「ピースV1 Excel出力パック 出力見本」を参照してください。

- ①メール番号内容（台帳）を指定した場合、
出力する Excel ブック名部分の、下記部分の指定が有効となります。

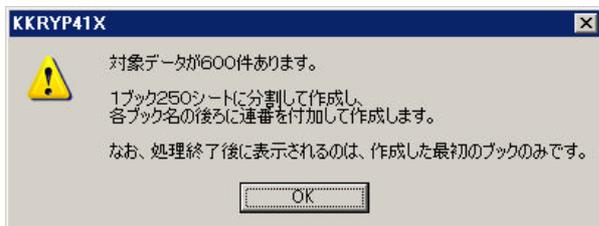
各シートに「抽出条件へ」というハイパーリンクを設定する。

をチェックすると、
各シート（メール番号単位）の2行B列に [抽出条件へ](#) というハイパーリンクが設定されます。
このハイパーリンクをクリックすると、抽出条件というシート（抽出条件と館員番号一覧のあるシート）
にジャンプします。

- ②メール番号内容（台帳）を指定した場合、

1ブックのシート数 が有効となります、

1メール番号1シートで作成されるメール番号内容（台帳）のブックは、
ここで指定した1ブックのシート数（最大999）を超えるデータがある場合、
ブックを分割して作成します。（指定した出力するブック名の後ろに連番が付きまます。）
この場合、下記のような画面が出力されますので、OK を押してください。



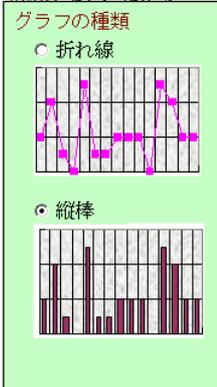
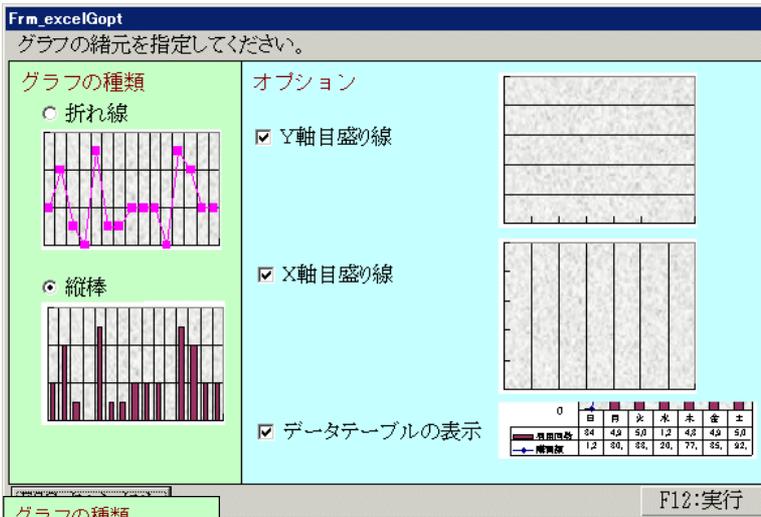
例) メール番号が600あり、1ブックのシート数に250を指定した場合

TEST-001.XLS	1 ~ 250 番目のメール番号のシートを含むブック
TEST-002.XLS	251 ~ 500 番目のメール番号のシートを含むブック
TEST-003.XLS	501 ~ 600 番目のメール番号のシートを含むブック

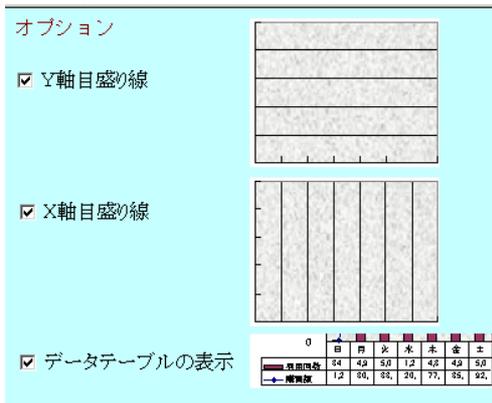
メール分析 Excel 変換

③ グラフ諸元の設定

メール発送前後來店者数推移では、グラフも出力されます。**F12:Excel 出力** を押すと下記画面が表示されグラフの諸元を設定することができます。



この部分でグラフを折れ線/縦棒のどちらかを指定します。



ここにチェックをいれると、Y軸目盛り線を表示します。

ここにチェックをいれると、X軸目盛り線を表示します。

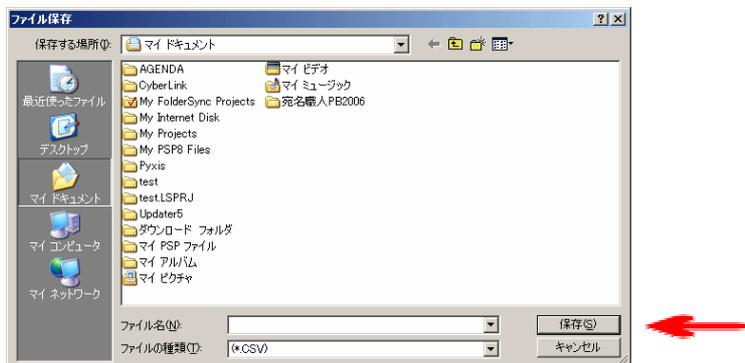
ここにチェックをいれると、
グラフの下部に値が表示されます。

出力するExcelブック名

各画面にある下記 出力するExcelブック名 部分では、書き出したブック名を指定します。

出力するExcelブック名(フォルダを指定しない場合は C:¥ に作成されます)	F9:参照
b:¥test	

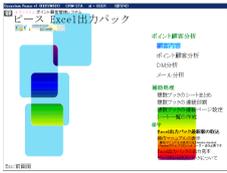
参照を押して、保存する場所を選びファイル名を入力し保存を押します。
(ここでいう保存とは、ファイル名を決定する事です。)



また、下記にチェックをつけると

出力ブック名に帳票名を付加する。

指定した帳票名が自動的にファイル名の後ろに付加されExcelブックが作成されます。
例) C:¥TEST と指定してポイント顧客一覧を作成すると
C:¥TEST_ポイント顧客一覧.XLS という名前でExcelブックが作成されます。



保守

Excel出力パック最新版の取込

操作マニュアルの表示

操作マニュアルの表示には『Adobe Acrobat Reader(アドビ アクロバット リーダー)』が必要です

Excel出力パックの出力見本

ピースExcel出力パックについて

① Excel 出力パック最新版の取込

別紙「ピースV1用Excel出力パック セットアップガイド」を参照してください。

注意：ピース本体の「最新版の取込」とは別処理です。

Excel 出力パックは、必ず Excel 出力パック最新版の取込 にて行ってください。

② 操作マニュアルの表示

この操作マニュアルを表示します。

操作マニュアルの表示には『Adobe Acrobat Reader(アドビ アクロバット リーダー)』が必要です。

③ Excel 出力パックの出力見本

別紙「ピースV1 Excel出力パック 出力見本」の内容のExcelブックを表示します。

④ ピース Excel 出力パックについて

バージョン等を表示します。

Excel は、米国 MicroSoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

542-0072

大阪市中央区高津 1 丁目 9 番 1 0 号
サムティインテリジェンスビル 6 0 2
有限会社 オズシステム

support@ozsystem.jp
<http://www.ozsystem.jp/ps1/>